

『獣医臨床シリーズ 2005 年版 Vol.33 / No.3 腫瘍内科学の進歩』正誤表

この度は『獣医臨床シリーズ 2005 年版 Vol.33 / No.3 腫瘍内科学の進歩』（2007 年 2 月 28 日発行）をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本書（1 章 / リンパ腫の最新情報, 5 頁, 表 1）に誤りがございましたので、ここにお詫びいたしますとともに、下記の通り訂正いたします。

表 1 犬リンパ腫における維持療法を伴わないウィスコンシン・マジソン大学プロトコルの比較

	週																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	13	15	17	19	21	23	25
Chun ら (2000)																	
L-アスパラギナーゼ (400IU/kg, 皮下)	●																
ビンクリスチン (0.7mg/m ² , 静注)	●		●			●		●		●		●		●		●	
シクロホスファミド (250mg/m ² , 静注)		●					●				●				●		
ドキソルビシン (37.5mg/m ² , 静注)				●					●				●				●
ブレドニゾン (2mg/kg を連日経口投与×7日, その後 1.5mg/kg を連日経口投与×7日, その後 1.0mg/kg を連日経口投与×7日, その後 0.5mg/kg を連日経口投与×7日, そして休薬)																	
Garrett ら (2002)																	
L-アスパラギナーゼ (400IU/kg, 皮下)	●																
ビンクリスチン (0.7mg/m ² , 静注)	●		●			●		●		●		●		●		●	
シクロホスファミド (250mg/m ² , 静注)		●					●				●				●		
ドキソルビシン (30.0mg/m ² , 静注)				●					●				●				●
ブレドニゾン (2mg/kg を連日経口投与×7日, その後 1.5mg/kg を連日経口投与×7日, その後 1.0mg/kg を連日経口投与×7日, その後 0.5mg/kg を連日経口投与×7日, そして休薬)																	